2024年3月期　第２四半期決算説明会

2023年10月27日

株式会社エンプラス

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

目次

決算概況

- 2024年3月期　第２四半期　決算説明
- 2024年3月期　連結業績見通し

企業価値向上の考え方　～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応～

- 現状分析と企業価値向上に向けた取り組みの目標値
- 企業価値向上の考え方
- 生成AIがもたらす事業機会
- 事業戦略
- キャッシュアロケーション方針（ご参考）

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

決算概況

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2024年3月期　第２四半期損益実績（連結）

（単位： 億円）

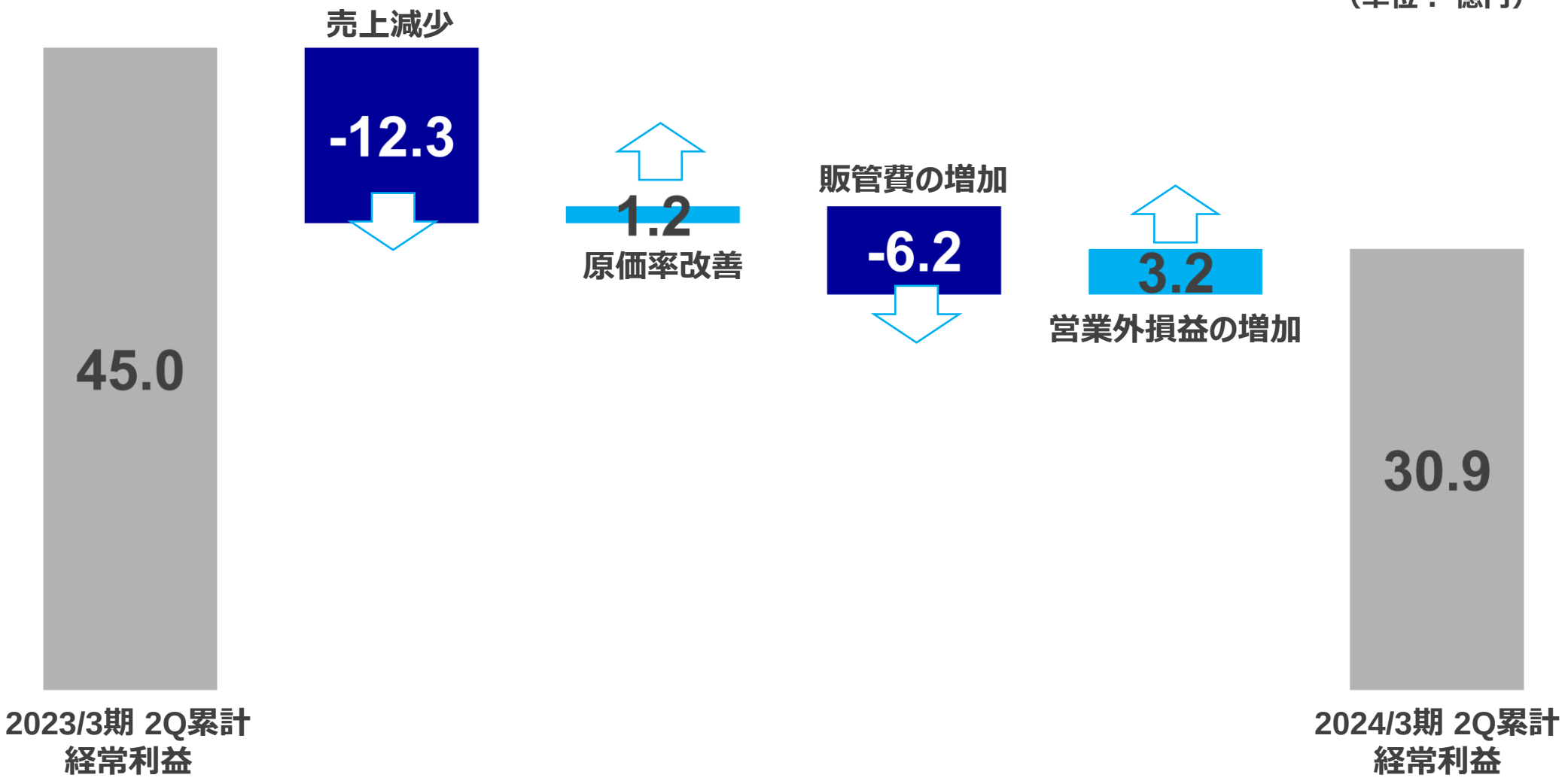
	2023/3期 2Q累計実績	2024/3期 2Q累計実績	増減	（参考）上期計画
売上高	210.9	192.0	-9.0%	195.0
売上原価率	52.5%	53.6%	+1.1pt	52.5%
営業利益	43.5	26.1	-39.9%	27.0
経常利益	45.0	30.9	-31.3%	27.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	17.6	17.9	+2.1%	19.0
1株当り四半期純利益	199.84円	203.81円	+3.97円	215.36円
期中平均レート（US$）	133.46円	141.31円	+7.85円	（計画レート）130.00円

※為替感応度（US$）：売上高　約2億円/年、営業利益　約1.5億円/年

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

経常利益の増減分析＜前2Q累計比＞

（単位： 億円）



Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2024年3月期　第２四半期セグメント別実績（連結）（単位： 億円）

		2023/3期 2Q累計実績	2024/3期 2Q累計実績	増減
Semiconductor	売上高	116.4	86.8	-25.4%
	売上原価率	48.1%	52.4%	+4.3pt
	営業利益	31.2	12.5	-60.0%
Life Science	売上高	17.4	12.6	-27.7%
	売上原価率	53.5%	62.9%	+9.4pt
	営業利益	-1.6	-6.8	-
Digital Communication	売上高	18.4	29.7	+60.9%
	売上原価率	36.6%	22.6%	-14.0pt
	営業利益	7.4	16.4	+121.8%
Energy Saving Solution	売上高	58.6	62.7	+7.1%
	売上原価率	66.0%	68.0%	+2.0pt
	営業利益	6.5	4.0	-37.9%

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

連結四半期損益実績推移

（単位： 億円）

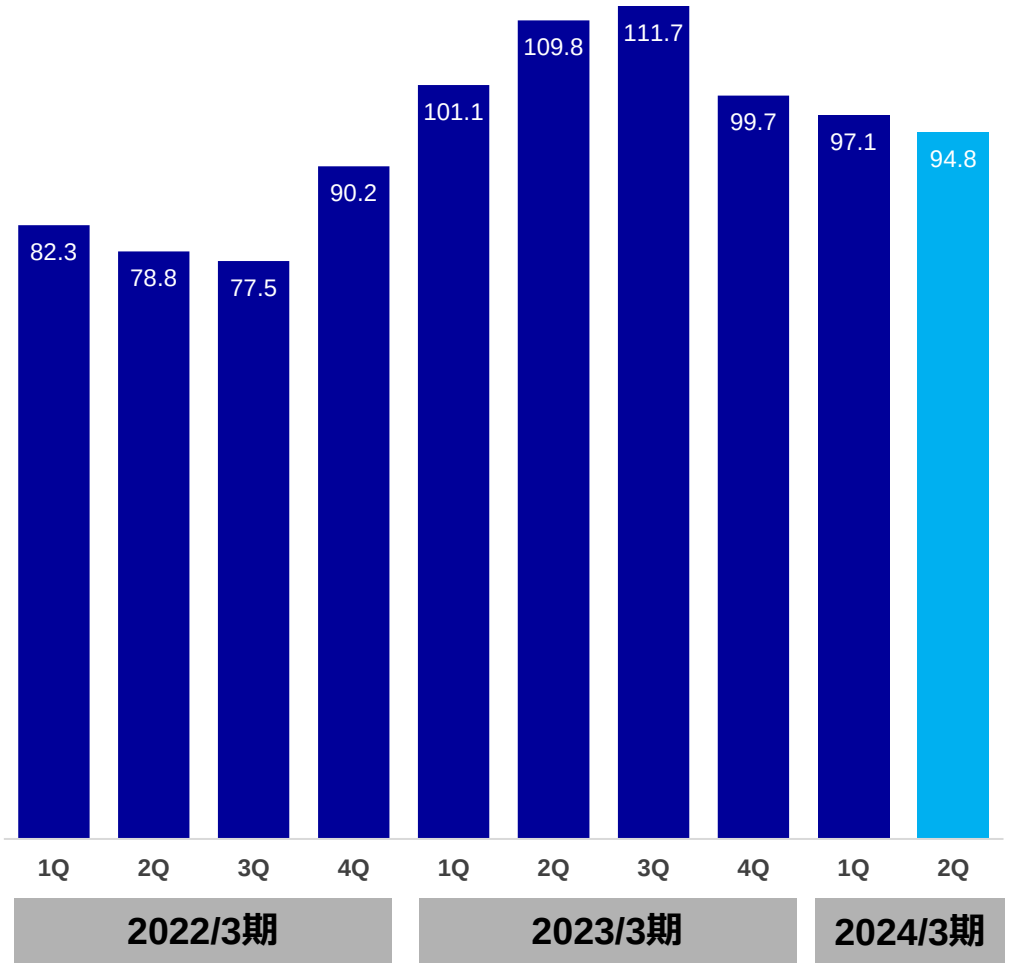
	2023/3期			2024/3期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	109.8	111.7	99.7	97.1	94.8
売上原価率	51.4%	49.4%	52.1%	53.2%	53.9%
営業利益	23.9	27.0	17.5	14.1	12.0
経常利益	23.6	24.4	18.3	16.8	14.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2.5	18.7	9.8	7.3	10.6
1株当り四半期純利益	29.45円	212.33円	111.74円	83.42円	120.39円

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

連結四半期損益実績推移

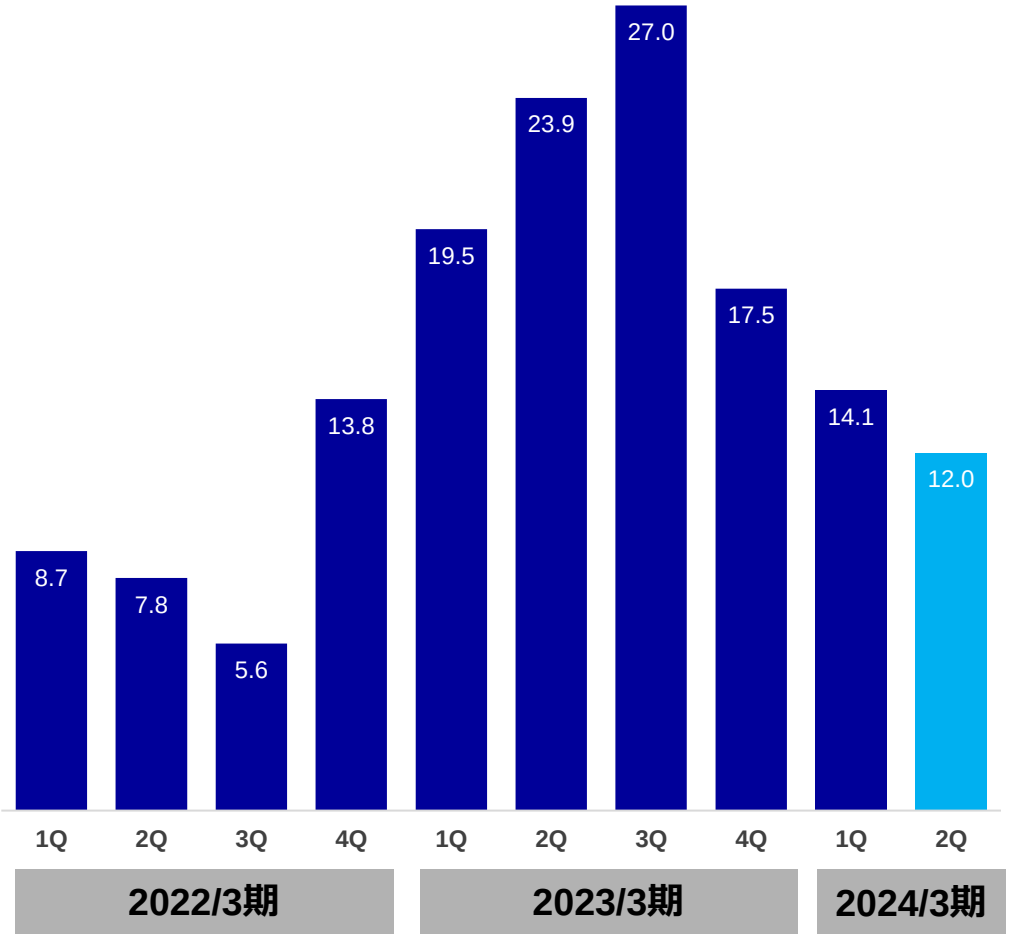
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

セグメント別四半期損益実績推移（連結）

（単位： 億円）

		2023/3期			2024/3期	
		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
Semiconductor	売上高	59.8	64.4	53.3	46.7	40.1
	売上原価率	46.3%	45.5%	45.7%	50.3%	54.8%
	営業利益	16.7	19.4	14.3	8.5	3.9
Life Science	売上高	9.5	7.8	5.6	6.0	6.5
	売上原価率	52.7%	54.0%	67.2%	63.9%	62.0%
	営業利益	-0.5	-0.9	-3.8	-3.5	-3.2
Digital Communication	売上高	9.0	9.6	9.6	14.4	15.2
	売上原価率	34.5%	31.1%	28.4%	23.5%	21.8%
	営業利益	3.8	4.3	4.0	7.8	8.6
Energy Saving Solution	売上高	31.3	29.7	31.0	29.8	32.8
	売上原価率	65.5%	62.7%	67.8%	70.0%	66.1%
	営業利益	3.9	4.1	2.8	1.3	2.7

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

決算総括

2024年3月期　第2四半期　損益実績

- Digital Communication事業の光通信関連は業績拡大継続も、Semiconductor事業が低調に推移し、前年同期比で減収減益（売上高-9.0%、営業利益-39.9%、親会社株主に帰属する四半期純利益+2.1%）

Semiconductor事業

- 半導体需要の調整が継続し減収
- 当初想定より回復が遅れるものの、中期的には需要は増加の見込み

Life Science事業

- 顧客の生産調整等により減収

Digital Communication事業　増収増益

- 光通信関連は、AI用途等のハイエンド領域が伸張し、増収
- 生成AI技術の進展、社会実装の始まりによる生成AI市場の拡大
- VE (Value Engineering) 提案とサプライチェーン強化により、高いシェアを維持・拡大

Energy Saving Solution事業

- 自動車の生産回復、自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡大により増収
- セグメント売上構成の変化（27.8%　→　32.7%）に伴い、コーポレート部門の費用配賦割当が増加し、減益

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

決算総括

➢ 販売管理費

（単位： 億円）

2023/3期　2Q累計	2024/3期　2Q累計	差　異
56.6	62.9	+6.3

➢労務費　+3.1億円
➢旅費交通費　+0.9億円
➢研究開発費　+0.5億円

➢ 営業外損益

（単位： 億円）

2023/3期　2Q累計	2024/3期　2Q累計	差　異
1.5	4.7	+3.2

➢為替差益　3.4億円（2023/3期　2Q累計　4.4億円）

➢ 特別損益

（単位： 億円）

2023/3期　2Q累計	2024/3期　2Q累計	差　異
-15.3	-3.3	+12.0

2024/3期　2Q累計実績
➢貸倒引当金繰入額　1.6億円
➢災害損失引当金繰入額　1.0億円
➢事業再構築費用　1.0億円

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2024年3月期　連結業績見通し

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2024年3月期　連結業績見通しの前提

enplas

連結業績

- 中期的な成長の想定は変更ないものの、半導体需要の調整が長引いており、特に4Qの状況は不透明なため下期は保守的な見通し
- 事業計画レート（US$）：130.00円 → 140.00円
- 将来に向けた成長投資は継続、販管費は2Q実績を反映（2024/3期：133億円 → 128億円）

Semiconductor事業

- 半導体需要の調整は3Q以降も継続する見通し。回復時期は想定よりも遅れる見込み
- 中期的には、当社が注力しているサーバー・車載・モバイル用途を中心に需要は増加する見通し

Life Science事業

- 年度内は顧客の生産調整等が続く見通し

Digital Communication事業

- 光通信関連の光学デバイスは、AI用途等のハイエンド領域が伸張し、7/28時点の想定を上回る見通し

Energy Saving Solution事業

- 自動車の生産回復、自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡大により、7/28時点の想定を上回る見通し

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2024年3月期　連結業績見通し

（単位： 億円）

	2024/3期	2024/3期	
	2Q累計実績	4月時点の見通し	10月時点の見通し
売上高	192.0	425.0	395.0
売上原価率	53.6%	52.1%	53.8%
営業利益	26.1	70.0	54.0
経常利益	30.9	70.0	60.0
親会社株主に帰属する当期純利益	17.9	50.0	42.0
1株当り当期純利益	203.81円	566.74円	475.91円
配当金	30.00円	60.00円	60.00円

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2024年3月期　セグメント別売上見通し

（単位： 億円）

	2024/3期	2024/3期	
	2Q累計実績	7月時点の見通し	10月時点の見通し
Semiconductor	86.8	208.0	175.0
Life Science	12.6	28.0	28.0
Digital Communication	29.7	60.0	62.0
Energy Saving Solution	62.7	129.0	130.0

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2024年3月期　設備投資・減価償却・研究開発（ご参考）

（単位： 億円）

	2023/3期 通期実績	2024/3期 2Q累計実績	2024/3期 通期
設備投資	23.7	19.8	40.0
減価償却	22.4	10.9	24.0
研究開発	12.8	6.7	14.0

※設備投資は、2023年4月28日の見通しから変更しておりません。

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

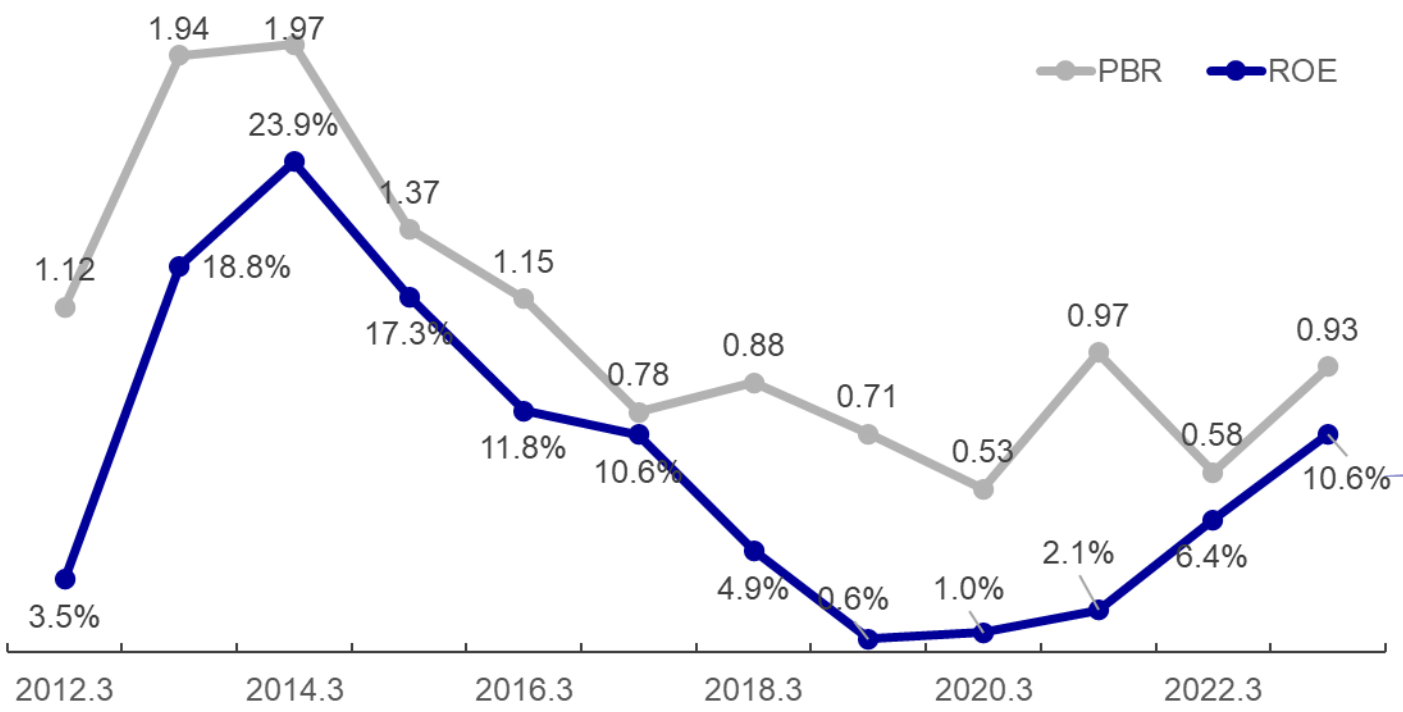
企業価値向上の考え方

～資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応～

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

現状分析と企業価値向上に向けた取り組みの目標値

- 過去のROEとPBRの推移から、当社のROEとPBRは相関が高いと分析
- 株主資本コストは7%～9%レンジを想定



中長期目標

ROE10%以上

持続可能な成長を目指す

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

企業価値向上の考え方

enplas

企業理念

Essential 領域

社会価値向上
- 成長市場の機会に当社の強みを繋げる
- 社会環境変化に強いインフラ用途を中心に
- 人と地球のQOLを高める領域

ソリューションプロバイダー

顧客価値向上
- サプライチェーン改革
- ディマンドチェーン構築
- ソリューション開発

組織力

従業員価値向上
- 人材開発の強化
- 人事制度（企業理念の実践）
- BS経営の推進（カンパニー制）

継続的な事業成長

付加価値率の向上

生産性の向上

企業価値向上

持続可能な成長

ROE10%

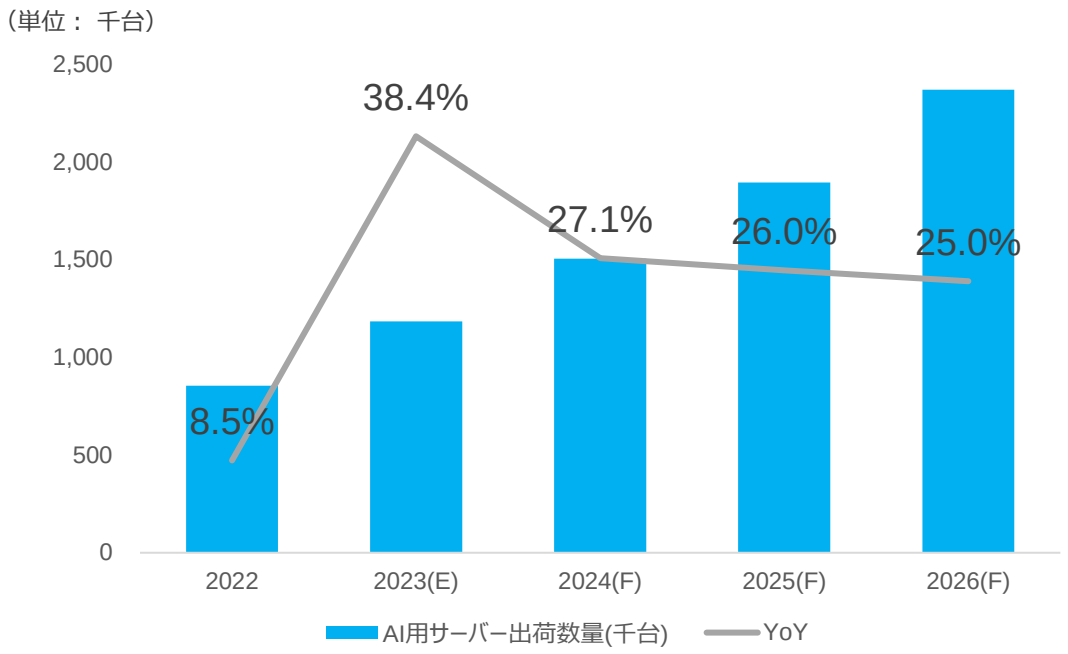
Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

生成AIがもたらす事業機会

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

生成AIがもたらす事業機会

市場予測　AIサーバーの出荷台数予測（2022～2026年）



AI用サーバーの出荷台数

CAGR：**29.0**%の予測
（2022年 → 2026年）

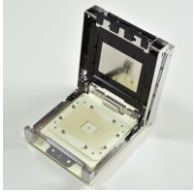
出典：TrendForce「Global AI Server Shipment from 2022 to2026」
https://www.trendforce.com/presscenter/news/20230530-11692.html

Semiconductor事業

- **バーンイン検査需要の増加**　中期

  半導体需要の回復

  AI用サーバーの需要拡大による信頼性評価の増加


サーバー・PC向け
大型バーンインソケット

- **SLT（システムレベルテスト）領域での事業拡大**　中長期

  高周波の知見が必要なテストソケットのラインナップを増やし、シェア拡大を目指す

Digital Communication事業

- **光通信用レンズの需要増**　短中期

  光トランシーバーの出荷数量増　×　光トランシーバーに搭載される光通信用レンズの数量増

- **1.6Tbpsのレンズを開発**　中期

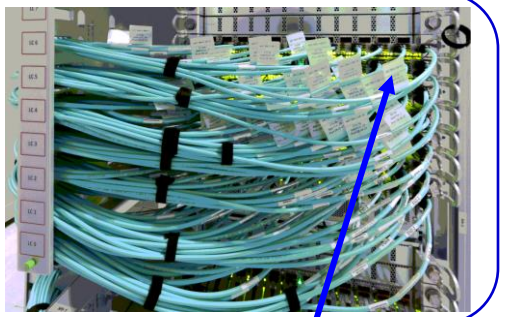
  より薄く、より小さく、高精度なレンズが求められる

1.6Tbps向け開発品

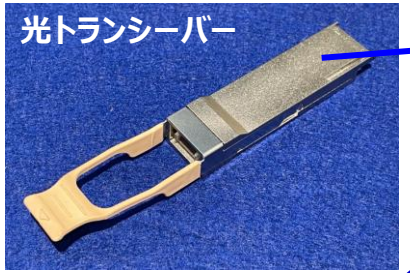
Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

Digital Communication事業の光通信関連とは

■スーパーコンピューターの使用例

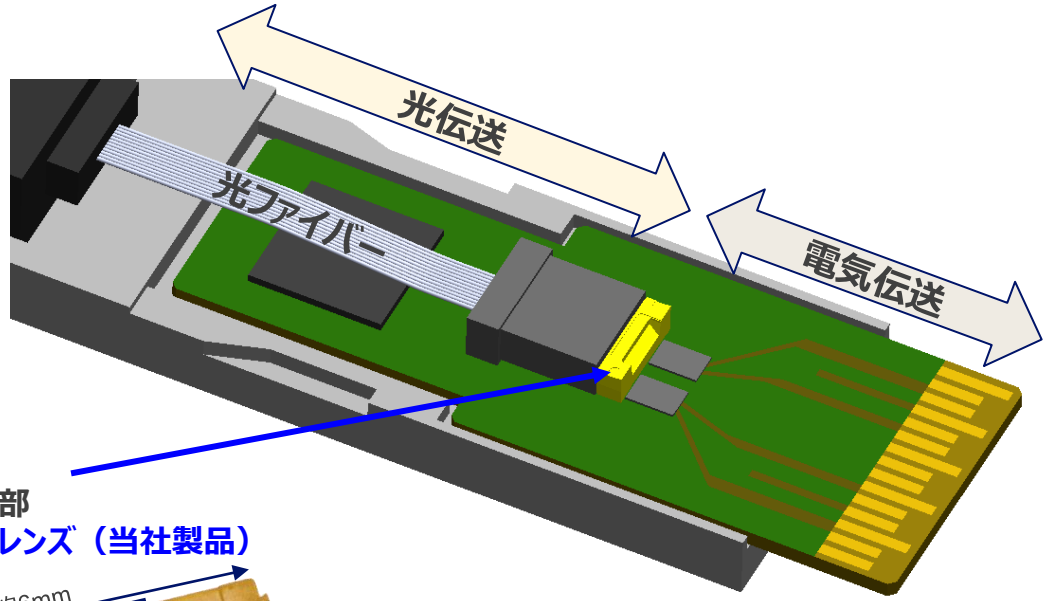


光トランシーバーとは・・・
“光”と“電気”を変換するためのモジュール

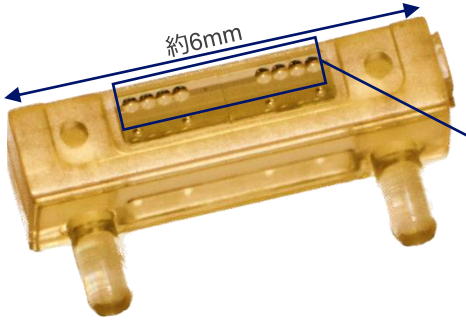


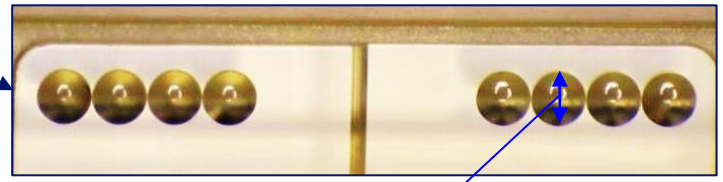
光トランシーバー挿入部

■光トランシーバー内の構成イメージ



光電変換部
光通信用レンズ（当社製品）





■光電変換部のレンズの役割
光ファイバーとレーザー・フォトダイオードを高効率で光学的に接続すること

※写真はFZJ様より御提供いただきました
http://www.fz-juelich.de/portal/forschung/information/supercomputer/juropa

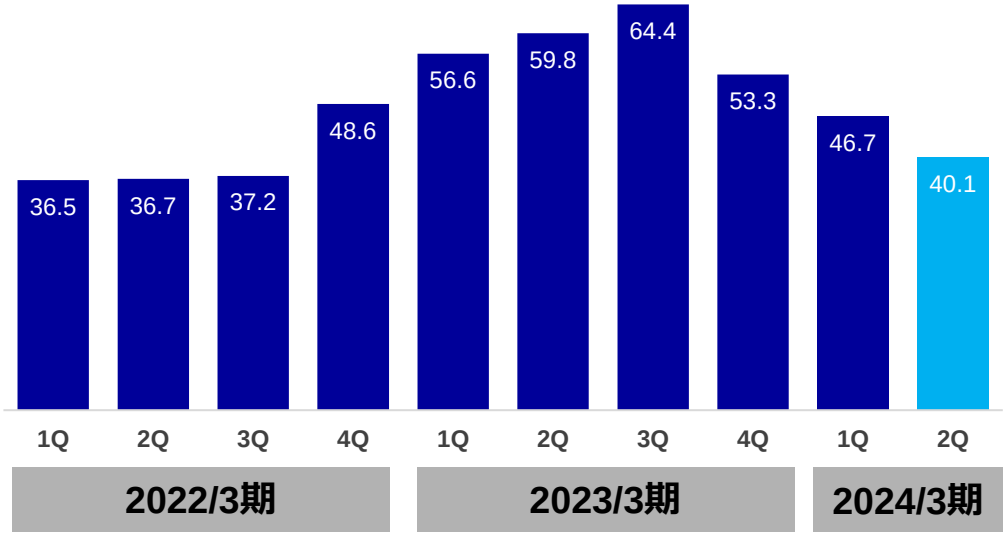
Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

事業戦略：Semiconductor事業

環境	■ サーバー用途、モバイル用途を中心に市場の落ち込みが継続 ■ 半導体需要の調整は当初想定より長引いているものの、当社が注力しているサーバーや自動車用途の需要は中期的には増加
事業戦略	■ 変化への対応に向けたディマンドチェーン構築、サプライチェーン強化 ■ ソリューション開発体制の強化

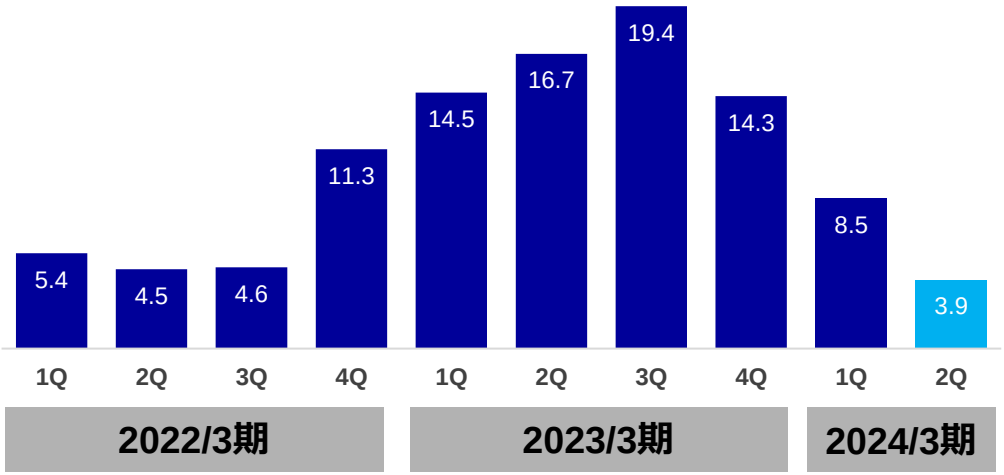
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



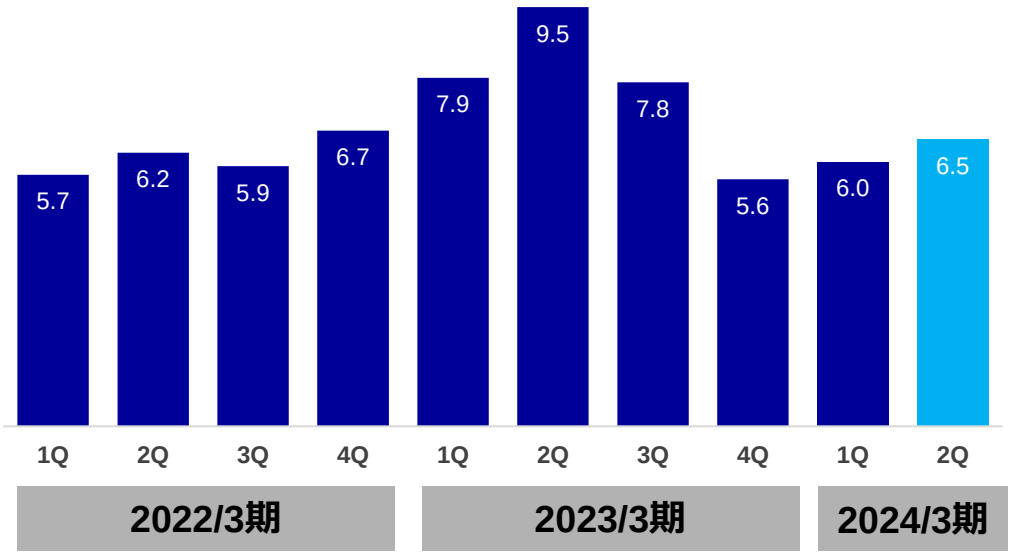
Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

事業戦略：Life Science事業

環境	■ 人々の健康意識の高まりによる遺伝子検査市場の成長期待 ■ 遺伝子検査用製品は、顧客の在庫調整が継続
事業戦略	■ セグメント・用途を絞り込み、高機能・高付加価値デバイスに特化 ■ 来期黒字化を目指す

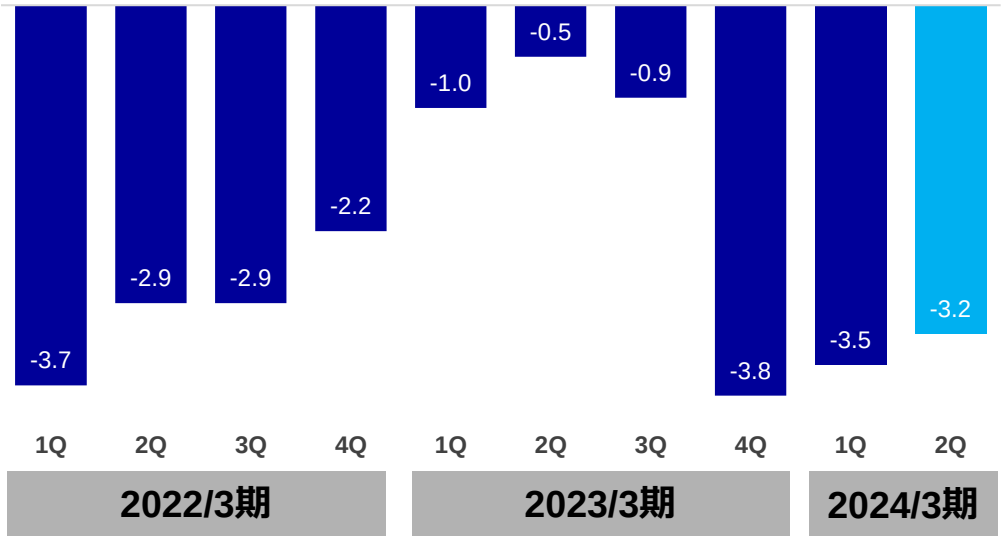
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



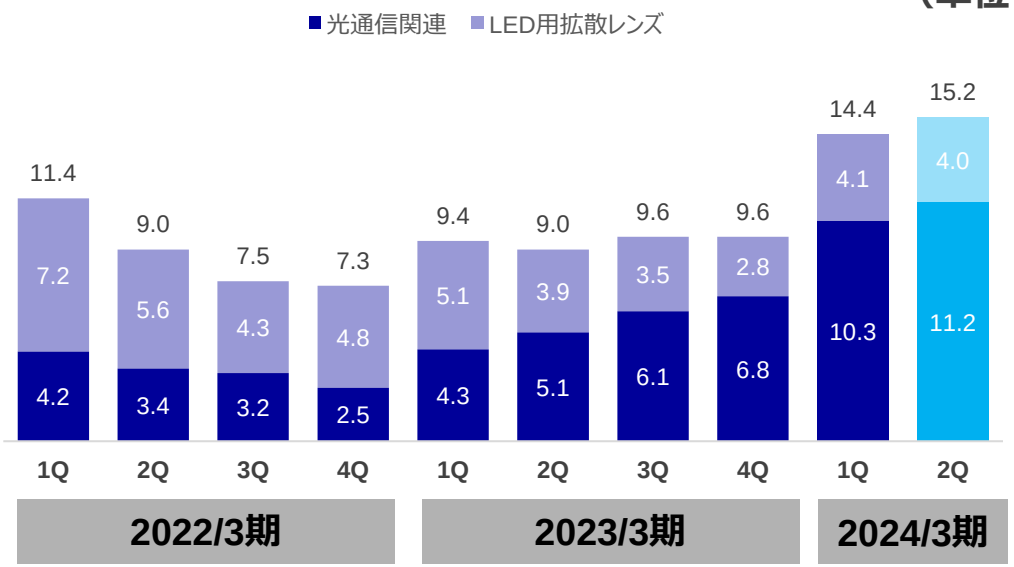
Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

事業戦略：Digital Communication事業

環境	■ 光通信関連は、生成AI技術の進展に伴う事業機会の拡大 ■ LED用拡散レンズは、液晶テレビ市場の需要減少を受け低迷
事業戦略	■ 光通信関連は、VE (Value Engineering) 提案とサプライチェーン強化による高シェアの維持・拡大 ■ LED用拡散レンズは、既存領域の収益性確保と、新ソリューションの開発

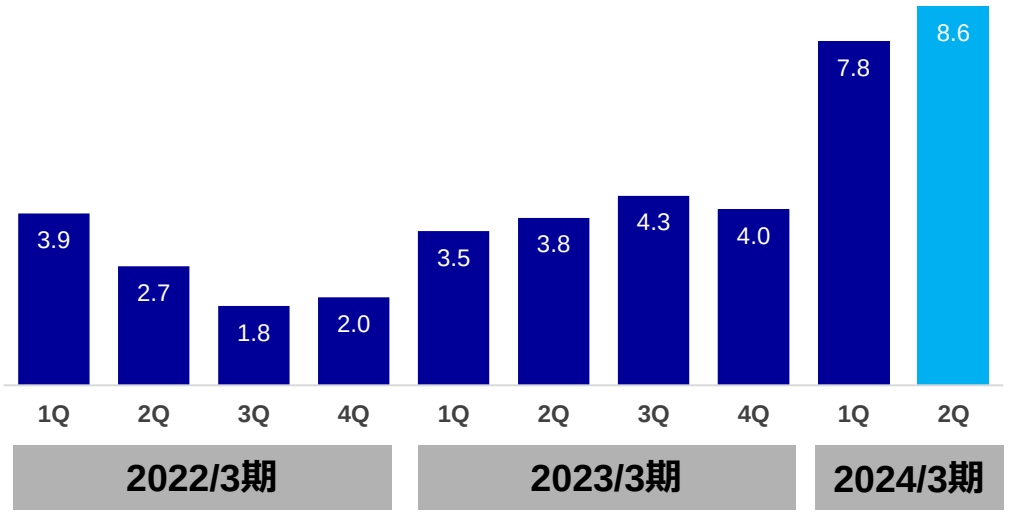
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



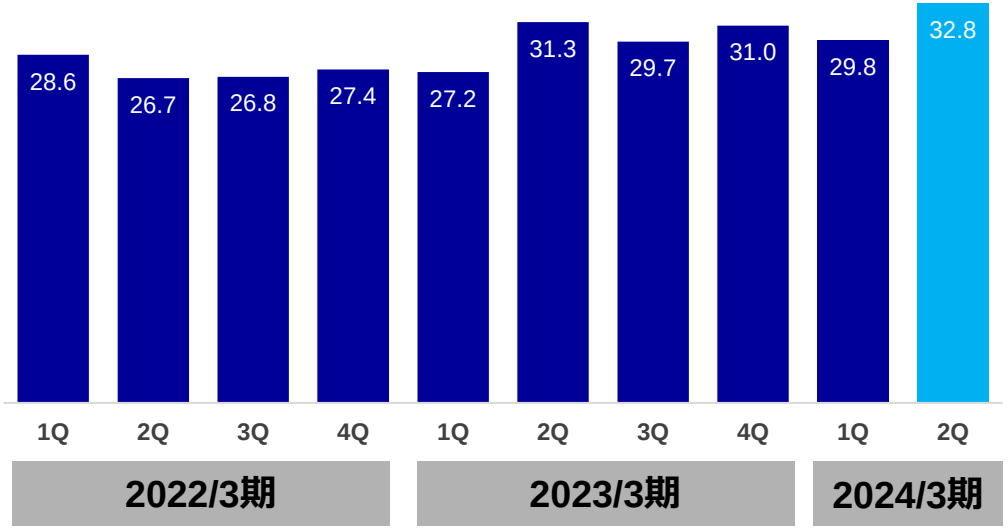
Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

事業戦略：Energy Saving Solution事業

環境	■ 自動車市場は経済活動の再開やEV化への流れが加速し、需要は拡大傾向 ■ 自動車関連は世界的な半導体不足や部品の調達難が解消し、生産回復
事業戦略	■ 欧米中を中心としたEV需要の取り込み ■ 低騒音、高効率ギヤソリューションビジネスでの成長

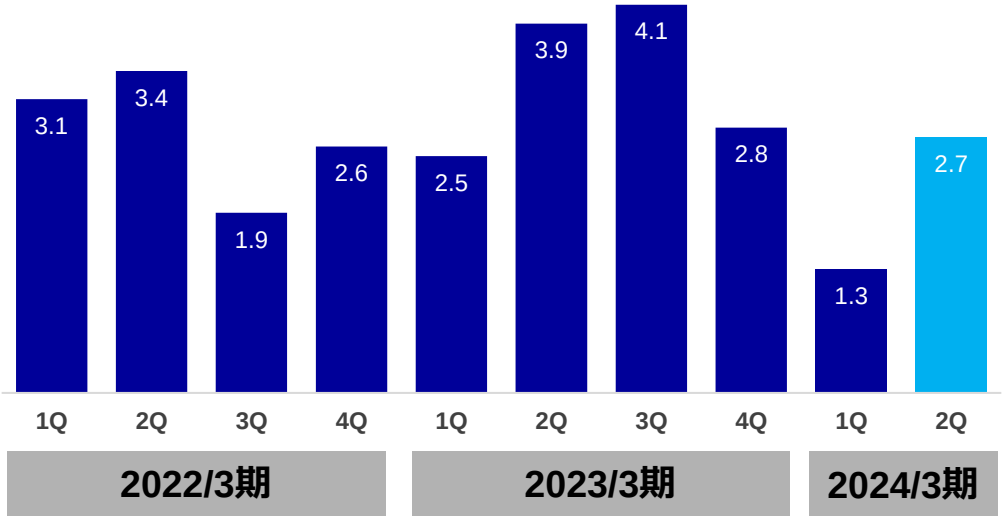
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

キャッシュアロケーション方針（ご参考）

新規事業/イノベーション創出への投資、成長分野への投資を優先

投資項目	回収期間	想定する効果	今後3年間の投資予定額
新規事業/イノベーション創出 環境対応への投資 ・イノベーションセンター（さいたま新都心） ・環境負荷低減	長期	未来に向けた企業価値向上	100~150億円
成長分野への投資 ・Essential領域 ・システム投資	中期	収益力の向上	70~120億円
その他の設備投資 ・金型投資 ・老朽化設備の入れ替え	短期	生産性向上	60~70億円

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

株式会社エンプラス　決算説明会

https://www.enplas.co.jp/

（東証プライム　6961）

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

Copyright ©2023 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved